



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成31年1月30日

上場会社名 株式会社 デサント

上場取引所

東

コード番号 8114

URL <http://www.descente.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石本 雅敏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 辻本 謙一 (TEL) 06-6774-0365

四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績 (平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	100,915	2.0	4,665	△15.9	5,037	△11.1	2,832	△26.1
30年3月期第3四半期	98,898	6.5	5,545	0.1	5,666	△4.1	3,830	△8.3

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 1,264百万円 (△75.7%) 30年3月期第3四半期 5,205百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	37.57	—
30年3月期第3四半期	50.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	116,584	78,479	67.3
30年3月期	117,141	78,875	67.3

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 78,479百万円 30年3月期 78,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	23.00	23.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	148,000	4.9	9,600	0.0	10,000	3.1	6,500	12.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	76,924,176株	30年3月期	76,924,176株
31年3月期3Q	1,515,939株	30年3月期	1,551,380株
31年3月期3Q	75,394,128株	30年3月期3Q	75,358,773株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	10
(追加情報)	10
3. 補足情報	11
海外売上高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は100,915百万円（前年同四半期比2.0%増）、営業利益は4,665百万円（前年同四半期比15.9%減）、経常利益は5,037百万円（前年同四半期比11.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,832百万円（前年同四半期比26.1%減）となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

（セグメント別売上高）

セグメントの名称	売 上 高 (百万円) (前年同四半期比)	セグメント利益又は損失 (百万円) (前年同四半期比)
日 本	44,092 (100.6%)	938 (47.5%)
ア ジ ア	54,167 (103.3%)	4,169 (103.6%)
欧 米	2,655 (101.4%)	△513 (前年同四半期△451百万円)
調 整 額	—	70 (前年同四半期△4百万円)
合 計	100,915 (102.0%)	4,665 (84.1%)

（日本）

アスレチックカテゴリーにおいては「デサント」、「ルコックスポルティフ」は好調に推移しましたが、「アンブロ」は苦戦しました。ゴルフカテゴリーにおいては「ルコックスポルティフ」が好調に推移しました。日本全体として売上高は堅調に推移しましたが、売上拡大に向けた自主管理売場やEコマースへの先行投資などによる販管費の増加により、利益は前年同四半期より縮小しました。

（アジア）

韓国においては「デサント」、香港においては「ルコックスポルティフ」、シンガポールにおいては「アリーナ」が好調に推移しました。アジア全体として売上高、利益ともに堅調に推移しました。

（欧米）

売上高は堅調に推移しました。デサントアスレチックアメリカスを設立したことによる販管費の増加により利益は前年同四半期に比べ縮小しました。

品目別売上高の状況は次のとおりであります。

（品目別売上高）

区 分	金 額	構 成 比	前年同四半期比
	百万円	%	%
アスレチックウェア及びその関連商品	66,865	66.3	103.7
ゴルフウェア及びその関連商品	25,750	25.5	96.9
アウトドアウェア及びその関連商品	8,299	8.2	105.5
合 計	100,915	100.0	102.0

（注）上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(アスレチックウェア及びその関連商品)

アスレチックカテゴリーにおいては、「デサント」では、「デサント」ブランドの代表アイテム「水沢ダウン」の発売10周年限定記念モデルを、日本の直営店「DESCENTE BLANC」7店舗にて10月より販売しました。「DESCENTE BLANC」の出店や「水沢ダウン」を通して、「デサント」ブランドが培ってきたクラフトマンシップやモノづくりスピリットを発信し、ブランド価値向上を図っています。また12月には日本自転車競技連盟や日本フェンシング協会など、日本で契約を結ぶ各競技連盟・協会に2019年シーズンよりサプライするチームウェアを発表しました。各競技団体へのサプライを通じ、商品開発力の強化およびグローバルでのブランド認知拡大、価値向上を推進しています。韓国においては、ランニングの機能的要素とライフスタイル要素を組み合わせたスポーツカジュアルウェアを展開する新業態「DUAL」の店舗を3店舗（9月末時点）に拡大しました。中国では合弁会社である「デサントチャイナ有限公司」が急速に店舗数を拡大しており、9月末時点で100店舗を超えました。また「ルコックスポルティフ」では、8月にインドネシアにて1号店をオープンするなど東南アジアでの事業拡大を図っています。「アリーナ」においては、8月の「パンパシフィック水泳選手権大会2018」に続き、12月に中国・杭州で開催された「第14回世界水泳選手権大会（25m）」に協賛し、大会を盛り上げるキャンペーンの実施、関連商品の販売など様々なマーケティング活動により、ブランド訴求を図りました。また、両大会において契約選手の瀬戸大也選手（所属：ANA/JSS毛呂山）が200mバタフライで金メダルを獲得するなど、ブランド価値向上につながりました。「アンブロ」においては、韓国においてアグリーシューズ「BUMPY」の売上が引き続き好調に推移し、ブランド事業の拡大を進めています。

(ゴルフウェア及びその関連商品)

ゴルフカテゴリーにおいては、「マンシングウェア」では、ベトナムにおいて、4月にオープンしたハノイ・ロッテ百貨店の1号店に引き続き、2号店を7月にハノイにオープンし、東南アジアでの事業拡大を図っています。国内では9月に「第49回マンシングウェアレディース東海クラシック」を開催し、契約選手の新垣比奈プロが2位タイ、同じく9月に開催された「ミヤギテレビ杯ダンロップ女子オープンゴルフトーナメント」において契約選手の大江香織プロが2年ぶりとなるツアー通算3勝目をあげるなど好成績を残しました。「ルコックスポルティフ」においては、韓国において若者向けの「SUNDAY」シリーズが好調に推移しています。「デサント」においては、8月に上海・久光百貨店に中国において初めてとなるゴルフ店舗をオープンし、アスレチックカテゴリーに続き、ゴルフカテゴリーにおいてもブランドの拡大を図っています。また、複数のゴルフブランドに関連するトピックスとして、10月に日本初のゴルフ複合業態直営店を三井アウトレットパーク木更津店にオープンしました。当社のゴルフブランド5ブランドに加え、住友ゴム工業株式会社が展開するゴルフギア3ブランドも取り扱い、幅広い層のゴルファーのニーズに応え、さらなるブランドファンの獲得とゴルフビジネスの拡大を目指しています。

その他のトピックスとして、7月に稼働した大阪府茨木市のアパレルのR&Dセンター(DISC)に続き、韓国・釜山のシューズのR&Dセンターも10月より稼働しています。両R&Dセンターは、共通コンセプトを設定し、スポーツアイテムとして、様々な競技シーンにおいて使用者のパフォーマンスを引き出す高次元な機能性の開発およびそれを安定的に実現するための品質基準の制定を並行して行い、DISCを起点に重点戦略の一つとして掲げている「モノを創る力」の向上に引き続き努めていきます。また、8月に株式会社ワコールホールディングスと包括的業務提携契約を締結し、10月から相互のブランド商品を直営店にて販売開始したことを皮切りに、協賛するスポーツイベントでの共同プロモーション、Eコマースへの相互送客など具体的な提携業務が始動しました。今後も引き続き、それぞれの経営資源を相互に活用し、事業基盤の強化・拡充・発展に努めることによって、ファッションとスポーツの事業領域を超えた新しい価値を創造し、両社の事業の拡大とグローバル化の推進を図っていきます。

日本では、新規流通の拡大を目的にB to B事業開拓の一環として、アスクル株式会社と協同し、アスクルの物流を担う同社100%子会社ASKUL LOGIST株式会社の新ドライバーユニフォームを手掛けています。当社は、ドライバーが心身ともにストレスなく活動し、そしてお客様との良好なコミュニケーションを形成する為に、スポーツで培ったノウハウを是非生かしたいとの想いでユニフォームを開発しました。また、ヒコ・みづのジュエリーカレッジ（所在地：東京都渋谷区）とシューズの企画から最終プレゼンテーションを行う産学協同のプロジェクトを実施しました。「デサント」ブランドの「ホノルルマラソンを快適に走れるランニングシューズ」を開発することをテーマに、8チームに分かれたシューメーカーコースの16名が参加し、2チームを優秀賞として表彰しました。当社はこのような活動を通して学生に「ものづくりの楽しさや難しさ」を肌で感じてもらう機会を提供するとともに、ものづくりを専門的に学ぶ学生の柔軟な発想や新鮮な切り口を当社の今後の商品企画に活かしていきます。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は116,584百万円となり、前連結会計年度末に比べ556百万円減少致しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ3,446百万円減少し、74,621百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少6,740百万円、受取手形及び売掛金の増加931百万円、商品及び製品の増加2,145百万円などによるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ2,890百万円増加し、41,963百万円となりました。

負債合計は前連結会計年度末に比べ160百万円減少し、38,105百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加602百万円、未払法人税等の減少473百万円、賞与引当金の減少403百万円、返品調整引当金の増加377百万円などによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ396百万円減少し、78,479百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加1,099百万円、為替換算調整勘定の減少1,459百万円などによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と同様に67.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、グループ組織再編を行い、株式会社デサントをグローバル本社とし、日本事業をデサントジャパン株式会社に分割した新体制での運営を2017年4月に開始しました。グローバル本社では、グローバルレベルでのブランド価値向上、各エリアの事業会社と連携した現地適応型のグローバル化を推進し、2020年度に目指す姿「VISION 2020」で掲げる「付加価値の高いブランドの複数展開により、アジアで事業を拡大し、グローバルスポーツカンパニーへと成長する」をビジョンとし、グループ全体での事業拡大を積極的に進めていきます。通期連結業績予想につきましては、2018年5月14日の決算短信で公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,954	21,214
受取手形及び売掛金	21,852	22,783
商品及び製品	24,933	27,078
仕掛品	140	148
原材料及び貯蔵品	885	773
その他	2,391	2,711
貸倒引当金	△90	△89
流動資産合計	78,068	74,621
固定資産		
有形固定資産	22,156	25,246
無形固定資産		
のれん	905	796
その他	4,172	3,954
無形固定資産合計	5,078	4,750
投資その他の資産		
その他	11,941	12,059
貸倒引当金	△102	△91
投資その他の資産合計	11,838	11,967
固定資産合計	39,073	41,963
資産合計	117,141	116,584
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,705	18,307
短期借入金	521	414
1年内返済予定の長期借入金	359	364
未払法人税等	1,269	796
賞与引当金	901	498
返品調整引当金	849	1,227
その他	7,508	6,466
流動負債合計	29,116	28,075
固定負債		
長期借入金	4,659	4,464
債務保証損失引当金	413	873
退職給付に係る負債	995	1,222
その他	3,082	3,469
固定負債合計	9,149	10,029
負債合計	38,266	38,105

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,846	3,846
資本剰余金	25,223	25,281
利益剰余金	45,421	46,520
自己株式	△658	△643
株主資本合計	73,832	75,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	822	670
繰延ヘッジ損益	13	△14
為替換算調整勘定	4,301	2,842
退職給付に係る調整累計額	△95	△23
その他の包括利益累計額合計	5,042	3,474
純資産合計	78,875	78,479
負債純資産合計	117,141	116,584

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	98,898	100,915
売上原価	44,738	44,965
売上総利益	54,160	55,949
返品調整引当金繰入額	297	377
差引売上総利益	53,863	55,572
販売費及び一般管理費	48,317	50,906
営業利益	5,545	4,665
営業外収益		
受取利息	176	232
受取配当金	64	90
持分法による投資利益	—	97
為替差益	—	37
その他	87	136
営業外収益合計	328	594
営業外費用		
支払利息	91	98
固定資産除却損	53	98
持分法による投資損失	33	—
その他	29	24
営業外費用合計	207	222
経常利益	5,666	5,037
債務保証損失引当金繰入額	—	460
投資有価証券評価損	—	343
特別損失合計	—	803
税金等調整前四半期純利益	5,666	4,234
法人税、住民税及び事業税	1,762	1,526
法人税等調整額	73	△124
法人税等合計	1,835	1,401
四半期純利益	3,830	2,832
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,830	2,832

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	3,830	2,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	307	△152
繰延ヘッジ損益	△39	△28
為替換算調整勘定	877	△1,370
退職給付に係る調整額	98	72
持分法適用会社に対する持分相当額	131	△88
その他の包括利益合計	1,375	△1,567
四半期包括利益	5,205	1,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,205	1,264

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

一部の連結子会社について、税金費用は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当該連結子会社の法人税等は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	43,844	52,435	2,618	98,898	—	98,898
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,819	309	115	3,244	△3,244	—
計	46,664	52,744	2,733	102,143	△3,244	98,898
セグメント利益又は損失	1,977	4,023	△451	5,549	△4	5,545

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△4百万円には、セグメント間取引消去20百万円、棚卸資産の調整額△4百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	44,092	54,167	2,655	100,915	—	100,915
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,214	385	102	3,703	△3,703	—
計	47,307	54,552	2,758	104,618	△3,703	100,915
セグメント利益又は損失	938	4,169	△513	4,594	70	4,665

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額70百万円には、セグメント間取引消去74百万円、棚卸資産の調整額△3百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. 補足情報

海外売上高

前第3四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）

(単位：百万円、%)

	アジア	北米	欧州その他の地域	計
I 海外売上高	53,774	1,568	2,034	57,377
II 連結売上高				98,898
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	54.4	1.6	2.0	58.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

(単位：百万円、%)

	アジア	北米	欧州その他の地域	計
I 海外売上高	55,236	1,648	2,128	59,013
II 連結売上高				100,915
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	54.7	1.6	2.1	58.5

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。